



## 教育

おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(401)

### ◆小・中学校音楽発表会が開催されました！

11月12日(水)、町中央公民館大ホールにおいて、『第50回大崎町小・中学校音楽発表会』が開催されました。

中沖小学校3・4年生13名による合唱『はじめようコンサート』、リズムアンサンブル『クラッピングファンタジー第3番』から始まり、町内7小・中学校の266名の児童・生徒が、各学校で練習してきた合唱や合奏を披露しました。



### ◆「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」

鹿児島県では、全県的に毎年11月1日～7日の期間を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」として設定しています。

本町の小中学校においても、この期間を『大崎町学校参観週間』として設定し、多くの町民の皆さまにおいでいただくことができました。

来年度も同じ時期に学校参観週間を設定いたしますので、お誘い合わせの上、ぜひ学校にお越しください。



## まびの窓おしえの庭

### 家庭で行う『食育』のすすめ

NO.27 大丸小学校 校長 小磯 俊彦

6つの『こ食』という子どもたちを取り巻く食卓の問題として、服部栄養専門学校長の服部幸應氏が次のように述べています。

【『子どもたちと健康と食育』より】

1つめが『個食』です。家族が同じ食卓を囲んでいるにもかかわらず、食事時にテレビに夢中になって、親の注意が子どもに行き届かず、しかも個人個人が違う好きな物を食べている。

2つめが『孤食』です。家族の食事時間がずれて子どもが1人で食事をする。

3つめが『固食』です。自分の好きな物だけを同じように固定的に食べている。偏食につながる。

4つめが『小(少)食』です。食べる量が少なく、栄養が偏ったり、発育に必要な栄養が不足する。

5つめが『濃食』です。味の濃い物ばかり食べる。味覚障害や肥満、生活習慣病の原因にもなる。

6つめが『粉食』です。パンやピザなど、粉を素材にした主食を食べる。いけないということではないが、日本の伝統的な主食である『米』、できれば玄米を積極的に摂りたい。

保護者の皆さんはこれらの『こ食』の問題点を認識して、子どもに正しい食事を指導していただきたい。できればその躰は、小学校3年生くらいまでに行い、正しい食事習慣を確立して欲しいのです。

冬休みがやってきます。それぞれのご家庭ならではの『おせち料理』で新年をお祝いしたいと思います。ぜひ、伝統の料理を子どもに伝えてください。また、長期休みは親子で食事の準備をしたり、会話をしたりと有意義な時間をとれる期間でもあります。食事のときはテレビを消して、1日の出来事、将来の夢、思い出話(子どもが小さい頃の話や保護者の子どもの頃の話)などをして楽しい食卓にしてほしいと思います。